

新型コロナウイルスワクチンについて

2021年3月9日(火)16:30~

東京都医師会記者会見

副会長 角田 徹

医療従事者等接種

- 感染リスク及び医療提供体制の確保の観点から、医療従事者等を接種順位の上位として接種を実施
- 医療従事者の接種体制は、都道府県が調整し、医療関係団体や医療機関が協力して確保
→ 今回のワクチン接種事業全体の実施主体は、
区市町村

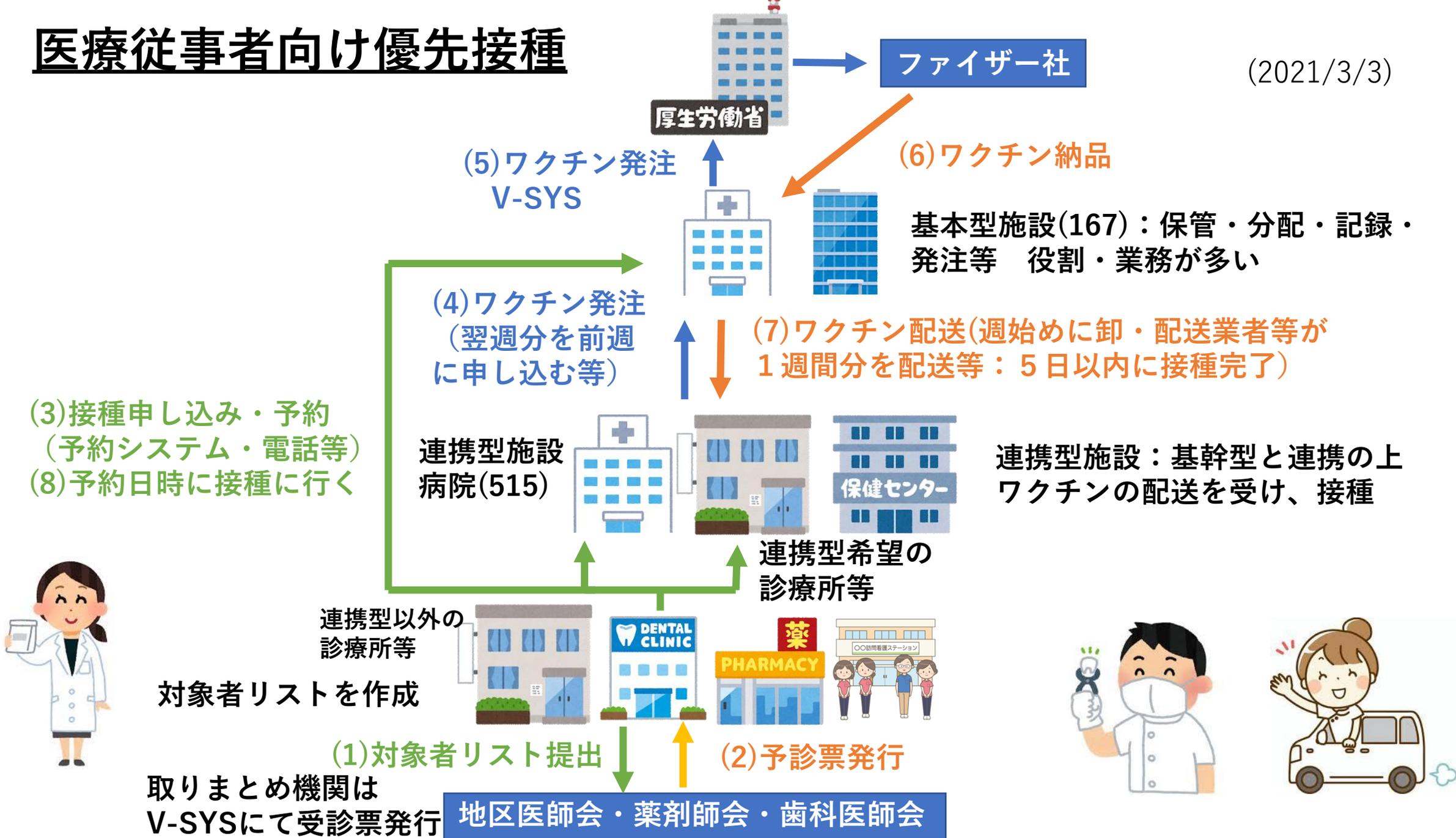
東京では約60万人が対象となる試算

医療従事者等接種体制 (2021/3/3 現在)

- 基本型接種施設：167施設
- 連携型接種施設（主に病院）：515施設
- 今後連携型施設となることを希望している診療所等：2733施設
 - ① 自院のスタッフ等がワクチンの運搬可能：1595施設
 - ② V-SYS、都の予約システム利用可能
 - ③ 地域の基本型施設とのマッチング

医療従事者向け優先接種

(2021/3/3)



医療従事者等接種のワクチン供給

ワクチン供給: 3/1～ 49箱(47775回分)

3/8～ 49箱(47775回分)

*三週間後に同量の配布

4/19～ 全国 2400箱

*東京都 240箱?(234000回分?)

『4月中には医療従事者等への

初回接種を完了できる供給量を確保』

医療従事者等接種について

- ワクチン(ファイザー)は2回接種を原則
- 当初はワクチン供給量が限定的だが、
医療従事者等への初回接種を
4月中から可能な限り全都的に施行する体制を整備
- 医療従事者等への接種の完了を優先する
- アナフィラキシー等有害事象には確実に対応する
- 高齢者等接種のフェーズに繋がるよう、
幅広い体制でワクチン接種ができるよう整備